Request Form for Translation

Translation Branch The world of foreign prior art to you.



U. S. Serial No.: $\frac{70}{0+1}, \frac{99}{9}$	
Office Location: Art Unit/Org.: Group Director: UM 2D15 1616 J. Doul	PTO 2003-2986 S.T.I.C. Translations Branch
Is this for Board of Patent Appeals? Wo Date of Request: 4 21 03 Date Needed By: 4 26 03 (Please do not write ASAP-indicate a specific date)	Phone: 308-0881 Fax: 308-0989 Location: Crystal Plaza 3/4 Room 2C01
SPE Signature Required for RUSH: Document Identification (Select One): **(Note: Please attach a complete, legible copy of the document to be tra Patent Document No.	58-143 884 Will
Language Country Code Publication Date Nosof Pages Article Language Country Code Publication Date Language Country Country	Will you accept an English abstract? (Yes/No) (Yes/No) (Yes/No)
Other Type of Document Country Language Document Delivery (Select Preference): Delivery to nearest EIC/Office Date: Call for Pick-up Date: Fax Back of e-wail Date: 5	Would you like a consultation with a translator to review the document prior to having a complete written translation? (STIC Only) (STIC Only) (STIC Only) (STIC Only)
STIC USE ONLY Copy/Search Processor: Date assigned: Date filled: 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Translation Date logged in: PTO estimated words: Number of pages: In-House Translation Available:
Doc. No.: Country:	In-House: In-House: Contractor: Translator: Assigned: Returned: Returned: Returned: Name: Priority: A Returned: Sent: Returned: Set: Returned: Set: Returned: Set: Returned: Set: Returned: Set: S

WEST

Generate Collection | Print

L8: Entry 6 of 7

File: DWPI

Nov 29, 1977

DERWENT-ACC-NO: 1978-05139A

DERWENT-WEEK: 197803

COPYRIGHT 2003 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Stabilised aq. suspensions of binapacryl - for mildew and mite control, contg. alizarin and a water-soluble aluminium cpd., having a pH of 5 to 9

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE CODE SANKYO CO LTD SANY

PRIORITY-DATA: 1976JP-0060747 (May 26, 1976)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO PUB-DATE LANGUAGÉ PAGES MAIN-IPC

JP 52143224 A November 29, 1977 000

INT-CL (IPC): A01N 9/20; A01N 17/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 52143224A

BASIC-ABSTRACT:

Stabilised aq. suspensions of Binapacryl (I) contg. alizarin (II) and a water-soluble Al cpd. (III) have a pH of 5.0-9.0. If desired, a water-soluble polymer cpd. is added to the aq. suspension. When the pH exceeds 7, Binapacryl becomes liable to be decomposed. The suspension contains 10-50 wt. %, pref. 20-40 wt. % (I). (II) is contained in an amt. of 0.01-3 wt. %, pref. 0.05-1 wt. %. (III) is suitably aluminium chloride, basic aluminium acetate (pref.), aluminium sulphate or alum. (III) is present in an amt. of 0.05-5 wt) %, pref. 0.1-2 wt. %. Blend ratio of (III) to (II) is pref. 1:1-2.

Binapacryl is used to control powdery mildew and <u>mites</u>. Aq. suspensions of (I) have the defect that a ppte. layer, difficult to suspend again, is formed during a storage and that this deterioration is promoted above 40 degrees C. This novel suspension is stable under high temp. conditions for long periods.

TITLE-TERMS: STABILISED AQUEOUS SUSPENSION MILDEW MITE CONTROL CONTAIN ALIZARIN WATER SOLUBLE ALUMINIUM COMPOUND PH

DERWENT-CLASS: A97 C03

CPI-CODES: A08-M02; A12-W04; A12-W12; C05-A01B; C08-D02; C10-G02; C12-A02; C12-B04; C12-M03; C12-M06;

CHEMICAL-CODES:

Chemical Indexing M2 *01*

Fragmentation Code

J2 H3 H7 M210 M213 M214 M232 M240 M260 M281 M313 M314 M320 G100 M531 J241 J242 H341 H342 H343

H721 M431 P002 P241 P242 M510 P330 P331 P332 M520

M540 M782 R003 R023 R024 M414 M902

WEST

Generate Collection Print

L8: Entry 6 of 7

File: DWPI

Nov 29, 1977

DERWENT-ACC-NO: 1978-05139A

DERWENT-WEEK: 197803

COPYRIGHT 2003 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Stabilised aq. suspensions of binapacryl - for mildew and $\underline{\text{mite}}$ control, contg. alizarin and a water-soluble aluminium cpd., having a pH of 5 to 9

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

CODE

SANKYO CO LTD

SANY

PRIORITY-DATA: 1976JP-0060747 (May 26, 1976)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO

PUB-DATE

LANGUAGE

PAGES MAIN-IPC

JP 52143224 A

November 29, 1977

000

INT-CL (IPC): A01N 9/20; A01N 17/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 52143224A

BASIC-ABSTRACT:

Stabilised aq. suspensions of Binapacryl (I) contg. alizarin (II) and a water-soluble Al cpd. (III) have a pH of 5.0-9.0. If desired, a water-soluble polymer cpd. is added to the aq. suspension. When the pH exceeds 7, Binapacryl becomes liable to be decomposed. The suspension contains 10-50 wt. %, pref. 20-40 wt. % (I). (II) is contained in an amt. of 0.01-3 wt. %, pref. 0.05-1 wt. %. (III) is suitably aluminium chloride, basic aluminium acetate (pref.), aluminium sulphate or alum. (III) is present in an amt. of 0.05-5 wt. %, pref. 0.1-2 wt. %. Blend ratio of (III) to (II) is pref. 1:1-2.

Binapacryl is used to control powdery mildew and <u>mites</u>. Aq. suspensions of (I) have the defect that a ppte. layer, difficult to suspend again, is formed during a storage and that this deterioration is promoted above 40 degrees C. This novel suspension is stable under high temp. conditions for long periods.

TITLE-TERMS: STABILISED AQUEOUS SUSPENSION MILDEW MITE CONTROL CONTAIN ALIZARIN WATER SOLUBLE ALUMINIUM COMPOUND PH

DERWENT-CLASS: A97 C03

CPI-CODES: A08-M02; A12-W04; A12-W12; C05-A01B; C08-D02; C10-G02; C12-A02; C12-B04; C12-M03; C12-M06;

CHEMICAL-CODES:

Chemical Indexing M2 *01*

Fragmentation Code

J2 H3 H7 M210 M213 M214 M232 M240 M260 M281

M313 M314 M320 G100 M531 J241 J242 H341 H342 H343

H721 M431 P002 P241 P242 M510 P330 P331 P332 M520

M540 M782 R003 R023 R024 M414 M902

(9日本国特許庁

① 特許出願公開

公開特許公報

昭52—143224

(f) Int. Cl². A 01 N 9/20 A 01 N 17/00 識別記号

⑤日本分類 庁内整理番号 30 F 371.212 6977—49 30 F 4 6516—49 30 F 91 6712—49

7167-49

30 F 922

③公開 昭和52年(1977)11月29日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全4 頁)

匈安定化されたビナパクリルの水性懸濁剤

②特

額 昭51-60747

22出

願 昭51(1976)5月26日

饱発 明 者 中村利家

滋賀県野洲郡野洲町大字野洲10 41 三共株式会社農薬研究所内

70発明者

滋賀県野洲郡野洲町大字野洲10 41 三共株式会社農薬研究所内

⑪出 願 人 三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3丁目

1番地の6

藤本昌彦

⑩代 理 人 弁理士 樫出庄治

PTO 2003-2986

S.T.I.C. Translations Branch

明 細 書

1 発明の名称

安定化されたビナベクリルの水性懸濁剤

- 2. 特許 請求の範囲
 - 1 アリザリンと水溶性アルミニウム化合物を含有し且つ懸濁剤のpHが50~90である ことを特徴とする安定化されたビナバクリル の水性懸濁剤。
- 3. 発明の静細な説明

本発明は、安定化されたビナバクリルの水性 懸濁剤にかかわり、さらに詳しくはアリザリン と水溶性アルミニウム化合物を含有し、且つ懸 濁剤のpHが5.0~9.0であることを特徴とす る安定化されたビナバクリルの水性懸濁剤に関 するものである。

ビナベクリル(化学名:2.4 - ジニトロー6 - セカンダリープチルフエニルジメチルアクリレート)は、農園芸作物に寄生し、専作用を及ぼすうどん粉約の防敵に、またダニ梨に対しても有効な化合物である。

一般に分散棋として水を使用した水性懸濁剤 の方が油性懸濁剤より植物に対する薬害が少な く、製造時の安全性、取扱いの便利さ等から農 変製剤としてはより有利である。

本発明者らは、ビナバクリルを水を分散媒と する水性懸濁剤に調製したときの貯蔵時におけ

(3)

であると云える。 従つて水性懸濁剤の貯蔵時代 おける安定性の自安は、40~50℃の高温条件下で比較的短期間(2~4週間)観察すると とにより知ることができる。

(Flocculation)を帯びることにより、貯蔵中 における安定性が著しく良くなると考えられる。 る物理性の劣化を防止すべく鋭窓研究を取れた結果、水性懸濁剤中にアリザリンシェび水溶性のアルミニウム化合物を添加し、更にpHを5~9とし、更に娶すれば水溶性高分子化合物を少量添加することにより、貯蔵中の沈降による強固で再懸濁が困難を沈酸層の生成等、物理性の劣化がことととく顕著に改善され、安定な水性懸濁剤が得られることを見い出した。

この場合にアリザリンと構造類似のアリザリンレッド 8 (化学名: 3.4 - ジヒドロキシアントラキノン-2-スルホン酸ナトリウム)の添加では全く安定化効果は認めることができず、本発明のピナパクリルとある特定な化合物の組合せが特異的な効果を示したことは全く意外な事実である。

ビナベクリルの水性懸濁剤の貯蔵時にかける物理性の劣化は、30℃以下では比較的 發慢であるが、40℃以上では著しく促進される。一般的に、40℃以上の高温条件下で物理性の劣化の少ないもの程、30℃以下においても僅少

(4)

ピナパクリルの水性影測剤の場合は、系全体が分散や子同士級やかに襲災をなし、 軽子に対したとによって個々の超子をを強力をはがない。 本発明の目的を達めて、 本発明の日のためにはいるという。 といるのから、 を選別のりはがってある。 といるのかがある。 かましくない。

水形性アルミニウム化合物は、塩化アルミニウム、塩基性酢酸アルミニウム、硫酸アルミニウム、硫酸アルミニウム、克田ウバン等から選択される。好適な水溶性アルミニウム化合物は塩基性酢酸アルミニウムであり、砂滴剤の 0.05~5 重益多、好適には 1~2 重量多合有する。 透陶剤中のアリザリンに対する水溶性アルミニウム化合物の配合

特開昭52-143224(3)

比(重量)は1対1~2が好ましい。

アリザリンと水溶性アルミニウム化合物は粉砕の前に添加することが好ましいが、粉砕後ゾル剤調製時に添加してもよい。ただしアリザリンは水溶性が低いので、粉砕後に添加するとはあらかじめ微粉砕するか、あるいは水酸化アルカリ水溶液に溶解させて添加する。

水溶性高分子化合物は、メチルセルロース、ヒドロキシエチルセルロース、ポリビニルアルコール、可容性デンプン等から選択される。好適な水溶性高分子化合物はヒドロキシエチルセルロースであり、懸濁剤の 0.05 ~ 5 重量易、好 30 には 0.1 ~ 2 重量易含有する。

また、本発明の水性騒瀾剤の胸製に際し、湿潤、分散等の目的でポリオキシエチレンアルキルエーテル、ポリオキシエチレンアルキルフリールエーテル等の非イオン性界面活性剤やラウリルペンゼンスルホン酸ナトリウム、リグニンスルホン酸塩、ナフタリン・ホルムアルデヒド縮合物

(7)

アリザリン	0.5 部
塩基性酢酸アルミニウム	0.3 部
水酸化ナトリウム(pH 調整用)	0.3 %
エチレンクリコール	60 部
ヒドロキシエチルセルロース	0.5 部
*	536 搬

ピナベクリル、リグニンスルホン酸カルシウム、アリザリン、塩基性酢酸アルミニウム、水酸化ナトリウム、エチレングリコールおよび水40部を配合して懸濁酸とし、アトライター(三井・三加数作所数、MA-18型)の粉砕相に入れ、粉砕メディアとして直径4型のステンレス製ポールを加えて2時間粉砕した。 得られた懸濁板にヒドロキシエチルセルロースを致余の水に溶解した都液を加えて再度混合し、ビナバクリルの水性懸濁剤を得た。このものの出て25であつた。

参考例 1

実施例1の処方よりアリザリン Q 5 部かよび 塩基性酢はアルミニウム Q 3 部を除き、代わり のスルホン酸塩等の除イオン性界面活性剤が懸 濁剤の QQ1 ~ 1 0 重量多の範囲で用いられる。

関に、エチレングリコール、ジェチレングリコールや硫酸アンモニウム、塩化アンモニウム、 硫酸ナトリウム等の無极塩のいずれかを硬結防止剤として懸濁剤中に 0 ~ 1 0 重加分合有させ ることもできる。

本発明の安定化されたビナバクリの水性懸満 剤の製造はきわめて簡単であり、次の一般的な 方法のいずれかを用いて製造される。(1) ビナバ クリルをあらかじめ乾式粉砕級で散粉砕化した 後、水性分散旗中に懸濁させる。(2) ビナバクリ ルを水性分散旗中に懸濁させた後、湿式粉砕級 で散粉砕化する。

以下に実施例、参考例および試験例を挙げて 本発明を更に説明する。(文中、単に部とある のは全て重量部をあらわす。)

吳施例 1

ビナパクリル 53.0 部 リグニンスルホン酸カルシウム 6.0 部

(8)

に同一重量の水を添加する以外は、実施例1と全く同様にしてビナパクリルの水性懸濁剤を将た。このもののpHは26であつた。

名老例 2

実施例1の処方より水酸化ナトリウム Q 3部を除き、代わりに同一重量の水を添加する以外は、実施例1と全く同様にしてビナバクリルの水性懸濁剤を得た。このもののりHは 3.7 であつた。

参考例る

実施例1の処方より水酸化ナトリウムを0.2 部波じ、代わりに同一置盤の水を添加する以外は、突施例1と全く同様にしてビナパクリルの水性懸潤剤を得た。このもののp H は 5.0 であつた。

多考别 4

実施例 1 の処方よりヒドロキシエチルセルロースを除き、代わりに同一重量の水を添加する以外は、実施例 1 と全く同様にしてビナバクリルの水性懸勝剤を得た。このもののpHは 2.5

であつた。

試験別1

本発明による実施例1の水性懸濁剤および参 考例1~4で得た水性懸濁剤を、内径4.5 cm、 局さ8 cmのシリンダーに高さ7 cmの位置をで加 え、ポリエチレンの径をして500値と立て加 2 週間静能した。水性懸濁剤中の軟硬盤を のばさ(cm)を7で除した数値を沈降容破緩集上 してシリンダーを手で撮りはせて、軟分散性を 形が呼びが動性を示す性質を再が動分散性と た。尚質過となっている。再が動分散性の は次の整率により表示した。

- (O);シリンダーを軽く振つただけで直ちに水 性絵類剤が凝動性を示す。
- [Δ];シリンダーを強く振り混せなければ流動性を示さない。
- [x]; シリンダーの底部に強固なハードケーキ ングを形成しており、シリンダーを強く 返り花せても流動性を示さない。

(11)

将房配32—143224、 48 1 表

沈 章	幸 容 锅 比	再疏動分散性		
経時初期	加熱試験 (50℃,14日間)	経時初期	加熱試験 (50℃,14日間)	
1.00	0.92	O	0	
1.00	0.55	0	×	
100	0.56	0	×	
100	0.7 5	Ö	Δ	
100	0.7 0	Ö	Δ	
	科時初期 100 100 100 100	100 092 100 055 100 056 100 0.75	経時初期 加熱 試験 経時初期 100 192 ○ 100 155 ○ 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	

传 所 出 顧 人 三 共 徐 式 会 社 代理人并理士 枢 出 庄 治

(12)

Japanese Patent

PTO 03-2986

Document No. Sho 52-143224

AQUEOUS SUSPENSION OF STABILIZED BINAPACRYL

[Anteikasareta Binapakuriru No Suisei Kentakuzai]

Toshiie Nakamura and Masahiko Fujmoto

UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE
Washington, D.C. April 2003

Translated by: Schreiber Translations, Inc.

Country : Japan

Document No. : Sho 52-143224

Document Type : Kokai

Language : Japanese

Inventor : Toshiie Nakamura and Masahiko

Fujmoto

Applicant : Sankyo Co., Ltd.

IPC : A 01 N 9/28, A 01 N 17/00

Application Date : May 26, 1976

Publication Date : November 29,1977

Foreign Language Title : Anteikasareta Binapakuriru No

Suisei Kentakuzai

English Title : AQUEOUS SUSPENSION OF STABILIZED

BINAPACRYL

Specification

1. Title of the invention

Aqueous Suspension of Stabilized binapacryl

2. Claim

1. An aqueous suspension of a stabilized binapacryl, characterized by the fact that an alizarine and a water-soluble aluminum compound are included; and pH of a suspension is 5.0-9.0.

3. Detailed explanation of the invention

The present invention pertains to an aqueous suspension of a stabilized binapacryl. More specifically, the present invention pertains to an aqueous suspension of a stabilized binapacryl characterized by an alizarine and a water-soluble aluminum compound are included and pH of a suspension is 5.0-9.0.

¹ Numbers in the margin indicate pagination in the foreign text.

Binapacryl (chemical name: 2,4-dinitro-6-sec-butylphenyldimethyl acrylate) is a compound that is parasitic to agricultural and horticultural corps and also effective for controlling harmful actions and Boston powder disease and Acarina.

This compound is slightly soluble in water, and an aqueous suspension in which water is a dispersion medium can be prepared. However, the particles in the suspension grow in a crystalline shape during its storage and precipitates, so that a strong precipitate layer (hard caking) is formed at the bottom of a container. Also, the dispersed particles are strongly adhered to each other, and when the suspension is added to a diluent for spraying water, etc., aggregates (coagulation) which are difficult to be re-dispersed in each particle are formed, so that the physical properties are degraded. In particular, since these tendencies were considerably accelerated at high temperature of 40°C or higher and became critical defects as a suspension, they were important issues in supplying the aqueous suspension of the binapacryl to practical uses.

On the degradation prevention of the physical properties of the agricultural chemical suspension during the storage, various methods have been attempted up to now. For example, as an aqueous suspension, a method for stabilizing a suspension by

using an aqueous rich solution of inorganic salts such as ammonium sulfate and sodium dihydrogen phosphate as a suspension medium (Japanese Kokai Patent Application No. Sho 55[1980]-76236) is known. However, in the method, the stabilization effect could not be met during the storage of the aqueous /2 binapacyl suspension. Also, in a method for stabilizing 2alkyl-4,6-dinitrophenol esters in which a metal complex compound dye composed of azo dye-complex compound and phthalocyanine dyecomplex compound systems (Japanese Kokai Patent Application No. Sho 49[1974]-126635), it cannot be said that all the effects are not necessarily accurate, and for this reason, the advent of a more accurate stable means has been in demand. Furthermore, in Japanese Kokai Patent application No. Sho 50[1975]-63141, a storage stabilization method of an oily suspension in which alizarine and an aluminum compound are added to a suspension in which amide carboxylates are dispersed into a water-soluble organic solvent is described. However, no aqueous suspension is mentioned at all.

In general, the harmful effects of an aqueous suspension, which uses water as a dispersion medium, rather than an oily suspension on plants are less, and the aqueous suspension is more favorable as an agricultural chemical in terms of manufacture safety, handling convenience, etc.

In these inventors, when the binapacryl was prepared as an aqueous suspension using water as a dispersion medium, lots of earnest researches were repeated to prevent the degradation of the physical properties during the storage of the aqueous suspension. As a result, it was discovered that if an alizarine and a water-soluble aluminum compound were added to an aqueous suspension, pH was adjusted to 5-9, and a small amount of water-soluble high-molecular compound was added, the degradation of the physical properties such as generation of a precipitated layer, which was difficult to be re-suspend, by the sedimentation during the storage was respectively markedly improved, so that a stable aqueous suspension could be obtained.

In this case, in the addition of an alizarine red S

(chemical name: sodium 3,4-dihydroxyantraquinone-2-sulfonate)

with a structure similar to that of the alizarine, a

stabilization effect cannot be recognized at all, and it is

unexpected that the combination of the binapacryl of the present

invention and a specific compound exhibits a specific effect.

The degradation of the physical properties during the storage of the aqueous suspension of the binapacryl is relatively mild at 30°C or lower, however it is considerably accelerated at 40°C or higher. In general, it can be said that if the degradation of the physical properties under a high

temperature condition of 40°C or higher is small, the degradation is also slight at 30°C or lower. Therefore, the estimation of the stability during the storage of the aqueous suspension can be detected by observing for a relatively short period (2-4 weeks) under a high temperature condition of 40-50°C.

The essence of the present invention is that an alizarine and a water-soluble aluminum compound are added into an aqueous suspension using water of binapacryl as a dispersion medium, pH is adjusted to 5-9, and if necessary, a water-soluble highmolecular compound is added. In other words, if pH of the suspension is 4 or more, the formation of an aluminum chelating compound of the alizarine is accelerated, and the if pH is 5 or more, the aluminum chelating compound of the alizarine is adsorbed with good efficiency to the surface of the dispersed particles, so that the particle growth at a high temperature (40-50°C) of the dispersed particles is suppressed and the coagulation of the particles is also suppressed. Furthermore, with a small amount of water-soluble high-molecular compound, the entire suspension exhibits a weak cohesive "flocculation." Thus, it is considered that the stability during the storage is markedly improved.

In the aqueous suspension of the binapacryl, the dispersed particles are mildly flocculated with each other in the entire

system, so that the binapacryl is re-dispersed into each particle by lightly shaking or stirring. This is very important to achieve the purpose of the present invention. For this reason, it is essential that pH of the suspension is 5 or more, preferably pH is 6-9, that is, neutral to weak alkaline. On the other hand, pH of the suspension exceeds 9, the binapacryl is easily decomposed, which is not preferable.

The suspension includes 10-50 wt% binapacryl, preferably 20-40 wt%.

The alizarine is included at 0.01-3 wt%, appropriately 0.05-1 wt% of the suspension.

The water-soluble aluminum compound is selected from aluminum chloride, basic aluminum acetate, aluminum sulfate, alum, etc. The water-soluble aluminum compound is appropriately a basic aluminum acetate and is included at 0.05-5 wt%, appropriately 0.1-2 wt% of the suspension. The mixture ratio (weight) of the water-soluble aluminum compound to the alizarine in the suspension is preferably 1:1-2.

The alizarine and the water-soluble aluminum compound are preferably added before crushing, however they may also be added during the formation of a sol agent after crushing. However, since the alizarine has a low water solubility, when it is added

after crushing, it is finely crushed in advance or dissolved in an aqueous alkali hydroxide solution and added.

The water-soluble high-molecular compound is selected from methyl cellulose, hydroxyethyl cellulose, polyvinyl alcohol, and soluble starch, etc. The water-soluble high-molecular compound is appropriately a hydroxyethyl cellulose and is included at 0.05-5 wt%, appropriately 0.1-2 wt% of the suspension.

Also, in preparing the aqueous suspension of the present invention, a nonionic surfactant such as polyoxyethylene alkyl ether and polyoxyethylene alkylallyl ether and an anionic surfactant such as sodium laurylbenzenesulfonate, sodium dialkylsulfosuccinate, lignin sulfonate, and sulfonate of naphthalin-formaldehyde condensate are used in a range of 0.01-10 wt% of the suspension.

Furthermore, any of inorganic salts such as ethylene glycol, diethylene glycol, ammonium sulfate, ammonium chloride, and sodium sulfate can be included at 0-10 wt% as an antifreezing agent in the suspension.

The manufacture of the aqueous suspension of the stabilized binapacryl of the present invention is very simple, and any of the following general methods is used in the manufacture. (1) A method that finely crushes the binapacryl in advance by a dry crusher and suspends it into an aqueous dispersion medium. (2)

A method that suspends the binapacryl into an aqueous dispersion medium and finely crushes it by a wet crusher.

Next, referring to an application example, referential examples, and a testing example, the present invention is further explained. (In the text, part means part by weight.)

Application Example 1

Binapacryl	33.0 parts
Calcium lignin sulfonate	6.0 parts
Alizarine	0.3 part
Basic aluminum acetate	0.3 part
Sodium hydroxide (for adjusting pH)	0.3 part
Ethylene glycol	6.0 parts
Hydroxyethyl cellulose	0.5 part
Water	53.6 parts

Binapacryl, calcium lignin sulfonate, alizarine, basic aluminum acetate, sodium hydroxide, ethylene glycol, and 40 parts water were mixed as a suspension, put into a crushing tank of attriter (made by Mitsui-Miike Works, MA-1S type), and crushed for 2 h by applying stainless steel balls with a diameter of 4 mm as crushing media. A solution in which hydroxyethyl cellulose was dissolved in the remaining water was added to the suspension obtained and remixed, so that an aqueous suspension of binapacryl was obtained. Its pH was 7.5.

Referential Example 1

Similarly to Application Example 1 except for excluding 0.3 part alizarine and 0.3 part basic aluminum acetate and adding the same weight of water in the prescription of Application Example 1, an aqueous suspension of binapacryl was obtained. Its pH was 7.6.

Referential Example 2

Similarly to Application Example 1 except for excluding 0.3 part sodium hydroxide and adding the same weight of water in the prescription of Application Example 1, an aqueous suspension of binapacryl was obtained. Its pH was 3.7.

Referential Example 3

Similarly to Application Example 1 except for reducing the sodium hydroxide to 0.2 part and adding the same weight of water in the prescription of Application Example 1, an aqueous suspension of binapacryl was obtained. Its pH was 5.0.

Referential Example 4

Similarly to Application Example 1 except for excluding the hydroxyethyl cellulose and adding the same weight of water in the prescription of Application Example 1, an aqueous suspension of binapacryl was obtained. Its pH was 7.5.

/4
Testing Example 1

The aqueous suspension of Application Example 1 of the present invention and the aqueous suspensions obtained in Referential Examples 1-4 were added up to a height of 7 cm to a cylinder with an inner diameter of 4.5 cm and a height of 8 cm, and a polyethylene plug was put on it and held for 2 weeks in an isothermal chamber at 50°C. The numerical value obtained by dividing the height (cm) of the soft coagulated particle layer in the aqueous suspension by 7 was a sedimentation volume ratio, and the cylinder was manually shaken and mixed. When the soft coagulated particle layer exhibited the flowability again, the property was assumed as a flow re-dispersibility. Also, the upper layer of the above-mentioned coagulated particle layer was a transparent aqueous dispersed layer. The evaluation of the flow re-dispersibility was expressed by the following references.

- [o]: The aqueous suspension immediately exhibits the flowability simply by lightly shaking the cylinder.
- $[\Delta]$: The flowability is not shown unless the cylinder is strongly shaken and mixed.
- [x]: A strong hard caking is formed at the bottom of the cylinder, and the flowability is not shown, even by strongly shaking and mixing the cylinder.

Table I

	Sedimentation volume ratio		Flow re-flowability	
	Initial stage with a lapse of time	Heating test (50°C, for 14 days)	Initial stage with a lapse of time	Heating test (50°C, for 14 days)
Application Example 1	1.00	0.92	0	0
Referential Example 1	1.00	0.55	0	X
Referential Example 2	1.00	0.56	0	X
Referential Example 3	1.00	0.75	0	Δ
Referential Example 4	1.00	0.70	0	Δ

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.